科目ナンバリング	U-LAS06 10002 LJ41						
授業科目名 <英訳>	法学 Jurisprudence			担当者所属 職名・氏名	法学研究科　教授　　山本　敬三		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(基礎)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

法は、国家・社会のインフラであり、法がなければ、国家・社会は立ち行かない。その中でも、民法は、人々の経済活動や生活に関する基本的な原則と制度を定めた法である。この講義では、主として民法を題材としながら、法の役割、法の仕組み、法の解釈と適用、法を定立し実現するための制度、法の歴史と法学の役割について説明することにより、法の意味と重要性を理解することを目的とする。

[到達目標]

法の役割、法の仕組み、法の解釈と適用、法を定立し実現するための制度、法の歴史と法学の役割に関する基本的な事柄を理解する。

[授業計画と内容]

基本的に以下のプランにしたがって講義を進める。

第１回　イントロダクション－法学を学ぶとは
第２回　法の役割－法は何のためにあるか
第３回　法体系の仕組み－法の世界の見取り図
第４回　私法とは－私法の見取り図
第５回　民法とは－民法の見取り図
第６回　民法の思考枠組み－権利と義務
第７回　法規範とは－法の意味と形式
第８回　法の解釈とは－法解釈の意味と方法：民法を題材として
第９回　法の適用とは－事実の確定と法への当てはめ：民法を題材として
第10回　法の定立－立法の仕組み
第11回　法の実現－司法の仕組み
第12回　法の担い手－法律家とは
第13回　法の歴史と展開－民法の歴史と国際比較
第14回　法学と実務－法学とは
第15回　フィードバック（方法は別途連絡する。）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）により、到達目標の達成度に基づいて成績評価を行う。

法学(2)へ続く↓↓↓

法学(2)

[教科書]

プリント等を事前に配布する予定である。
参考図書は授業の最初に説明する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習：　授業前にPandAでレジュメを提供するので、レジュメおよびその中で指示する資料等の該当箇所を読んでおくこと。

[その他（オフィスアワー等）]